

ス
クラブ
ア
イ
フ
ハリ
FP
グ
ラ
ン
ド
マ
ス
タ
ー
決
定
大田康之氏が初の栄冠に

ハイアス・アンド・カンパニーは4月7日、住宅・不動産業界フォーラム「第4回リライクラブ全国大会」を東京・目黒雅叙園で開いた。今大会では、「住宅FPマスタ

ー」の最優秀事例の発表者として与えられる「グランドマスター」を選出候補者の成果発表と表彰が行われ、(株)グロイニング(京都府福知山市)の大田康之代表取締役が初の栄冠に輝いた。

ハイアス社は、同社が運営



事例発表した(中央3人、左から)日興ホームの堀江真人氏、大田康之氏、建房の田内聡一氏

する全国の住宅・不動産会社のネットワーク「リライクラブ」において今年1月から独自資格制度「住宅FPマスター」をスタート。住宅営業の中でも特に専門性が求められるファイナンシャル・プランニングの手法を用いながら、最適な住宅購入の時期や

予算についてアドバイスをする制度研修。「集客は少なくとももしっかり契約数は確保したい」「適正な単価で受注したい」という事業者サイドのニーズに応えると共に、FPの中立性を強みに顧客の不安解消と信頼度を高める効果を期待している。

「FPマスター」には最上位から、グランドマスター、マスター1級、同2級、同3級の等級があり、年1回開かれる全国大会で会員の投票によりグランドマスターが選出されることになっている。合計3人の候補の中から選ばれた大田氏は、会社選びよりも最初に「ファイナンシャルプランニングを優先し、その予算で計画を進める」提案を徹底。「(顧客に)ローンに戦略を持つことが大事と気づいてもらう」ことが重要と指摘する。事例を総括したハイアス社川瀬太志取締役常務執行役員は大田氏の発表について、「大田流『ブーメラン営業』(お客様が戻ってくる仕掛け) ↓ 圧倒的な相談了解獲得力と徹底したフレミッシングがなせる技」と高く評価した。大会では表彰に先立って、国土交通省住宅局住宅政策課課長の坂根工博氏が「成熟社会に向けた住宅政策」をテーマに特別講演。濱村聖一ハイアス社社長の本部分針発表で大会を締めくくった。